

ドラコニア逍遙

オマージュ
澁澤龍彦展

秋吉巒、伊豫田晃一、巖谷國士、柄澤齊、合田ノブヨ、桑原弘明、近藤ようこ、高松潤一郎、
建石修志、林由紀子、山本六三、四谷シモン

2025年12月6日|土|－28日|日| 13:00－18:00 (水木休廊)

秋吉巒 /Ran Akiyoshi

1922 年、旧日本統治下の朝鮮に、日本人の両親のもとに生まれる。独学で美術を学び、独自の幻想美を追求し続けた。生計のため風俗誌や雑誌に装画、挿画を提供するなど商業的な仕事を請け負いつつ、自らの幻想絵画を世に売ることなく、個展すら開かず画家としての生涯を過ごした。澁澤龍彦は「通俗シュルレアリスム」と評し、「ひたすら自分の夢をつむいだ」と賛した。1981 年没。

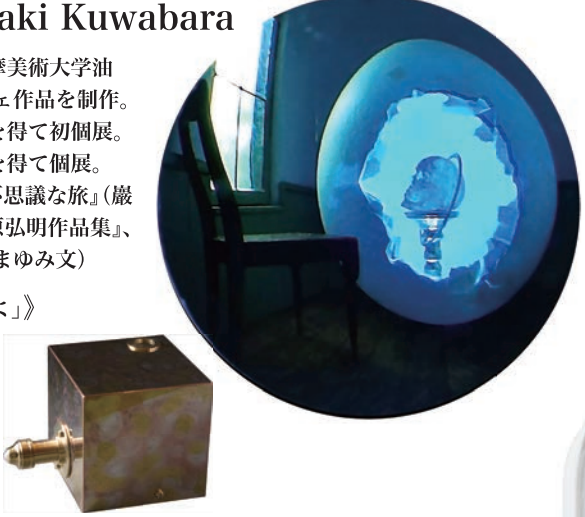
《キルケ》
油彩、320×410mm



桑原弘明 /Hiroaki Kuwabara

1957 年茨城県生れ。多摩美術大学油画科卒業。極小のオブジェ作品を制作。1995 年巖谷國士の序文を得て初個展。2001 年種村季弘の序文を得て個展。著書に『スコープ少年の不思議な旅』(巖谷國士・文)、『Scope 桑原弘明作品集』、『湖畔地図製作社』(長野まゆみ文)

《scope「聖なる眠りよ」》
ミクストメディア
63×69×65mm



林由紀子 /Yukiko Hayashi

1958 年東京生まれ。静岡県三島市在住。坂東壯一に銅版画を師事。鉛筆画、ペン画、銅版画を制作し、ヴァーノン・リー、フィオナ・マクラウド、タニス・リー等幻想文学の書籍の挿画、表紙絵を手がけている。2025 年、澁澤龍彦「暗黒のメルヘン」「変身のロマン」の装画に銅版画作品が使用される。銅版画蔵書票集「プシュケの震える翅」、作品集「ペルセポネー 帰帰する植物の時間」を出版。

《ペルセポネーの花と闇》
銅版画に手彩、176×120mm



近藤ようこ /Yoko Kondo

漫画家。1979 年、「ガロ」でデビュー。作品に「ルームメイツ」「水鏡綺譚」「五色の舟」(津原泰水原作・文化庁メディア芸術祭漫画部門大賞受賞)など。2019～2021 年、コミックビーム誌にて澁澤龍彦の小説を漫画化した。「高丘親王航海記」を連載。

《猯園》
水彩、175×250mm



四谷シモン /Simon Yotsuya

1944 年東京生。10 代から人形をつくる。1965 年澁澤龍彦の記事でベルメールの作品を知り球体関節人形制作にめざめる。1966 年唐十郎と出会い、数年間状況劇場公演に出演。1973 年澁澤龍彦からのオマージュを受け人形の初個展開催。1978 年人形学校エコール・ド・シモン設立。2000 年から全国的美術館で巡回展。著作に『人形作家』(講談社現代新書)

《少年の顔》
パステル画、160×160mm



巖谷國士 /Kunio Iwaya

1943 年、東京生、東大卒。仏文学者、写真家、明治学院大学名誉教授。63 年から澁澤龍彦と親しく交友し、シュルレアリスムの研究と実践を続ける。主著に『シュルレアリスムとは何か』『澁澤龍彦論コレクション』全 5 巻、ブルトン『ナジャ』ほか多数。

《メディススの泉の不思議》
カラー銀塩プリント、203×305mm



伊豫田晃一 /Koichi Iyoda

銅版画・水彩・油彩・彫金・オブジェ等制作。皆川博子、小池真理子等小説の装画、服飾・装飾品デザインなど多方面で活動。作品集「ASTROLABE」、 「Magnum Opus」「Tenebris Lux」(二巻組)、掌篇集「マルジナリア」(ロクス文庫)を出版。ヨウジヤマトのブランド「S'YTE」とのコラボレーションなど活躍の場を広げている。

《Black magic》
木製ハンドマネキンにジュッソと油彩
295×170mm (手首本体高さと台座直径)



柄澤齊 /Hitoshi Karasawa

1950 年栃木県生まれ。版画、絵画、オブジェ、彫刻を制作。18 世紀の印刷機を使用し梓丁室のプレス名で版画集等出版。06 年、栃木県立美術館、神奈川県立近代美術館で回顧展。著書に『柄澤齊 本口木版画集』、エッセー集『銀河の棺』、長編小説『ロンド』、『黒富士』など。装丁装画に『堀田善衛全集』『決定版三島由紀夫全集』『西行花伝』などがある。

《毒薬の手帳》
木、紙、ガラス、墨、水彩、インク、アクリル
180×135×40mm



建石修志 /Shuji Tateishi

東京芸術大学美術学部 VD 卒業。鉛筆、混合技法等により制作。中井英夫、久世光彦、皆川博子など小説の挿画、書籍の装丁は 400 冊を数える。画集「紙片の狭間へ」(青木画廊)、技法書「鉛筆で描く」、「不思議の国のアリス・鏡の国のアリス」(青土社)

《角度の測定一星に従え！》
デカルコマニー、鉛筆、アルキド樹脂絵具
322×364mm



合田ノブヨ /Nobuyo Goda

1972 年生。画家、合田佐和子の次女。幼い頃から芸術に携わる環境で育つ。十代よりコラージュを制作・発表。高校在学中にテレビドラマのタイトルバックを制作。吉本ばなな、皆川博子、シャーリー・ジャクソン等書籍の装画、雑誌、新聞の挿画を多数手がけている。近年はコラージュに加え、オヴジェ作品も制作。

《採集者》
コラージュ、265×200mm



山本六三 /Mutsumi Yamamoto

1940 年神戸市生。パタイユ、吉田一穂、塚本邦雄等挿画。澁澤龍彦からは銅版画のマニエリストと評されたが、その後、油彩においても、精緻な表現で神話、エロス、タナトスといった象徴的な主題を深化させた。2001 年没。Bunkamura、兵庫県立美術館にて回顧展。

《マスカン》銅版画/ 198×140mm

高松潤一郎 /Junichiro Takamatsu

1941 年北海道小樽生まれ。立教大学理学部数学科中退。サンドペーパーで滑らかにしたキャンバスに絵の具を塗り広げてイメージを捉え、シュルレアリスティックな七色の浮遊する女性群像を描く。1968 年の青木画廊の個展では、澁澤龍彦が推薦文を寄せた。

《嵐蝶》
油彩、227×157mm

GALERIE L'ŒIL ギャラリーロイユ